

キトラ古墳の整備活用について

古墳壁画PT保存整備班

○平成29年度の事業報告

1) 整備報告書等

- ・『特別史跡キトラ古墳環境整備事業報告書（仮）』の編集
- ・パンフレット「特別史跡 キトラ古墳 整備の概要」の作成、印刷
形態：A4 3つ折
内容：整備概説／墳丘周辺のMAP／墳丘の整備断面図／活用施設の紹介
言語・部数：日 30,000部、英・中（簡）・中（繁）・韓 各 1,000部

2) 墳丘現地の活用

・キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会

特別史跡キトラ古墳の活用を目的として、奈文研・国営飛鳥歴史公園（国営飛鳥歴史公園事務所＋公園財団飛鳥管理センター）共催で、年間4回実施、土祝日の午前中、定員20名の事前予約制で実施した。所要時間90分、四神の館内で保存整備の概要をレクチャーした後、現地見学・乾拓体験を行い、館に戻って落款印を押して完成させる。乾拓板の設置数が7基のため、少人数制のイベントだが、参加者の満足度は高かった。



古墳見学の様子（5/13）



乾拓体験の様子（8/26）

○平成 30 年度 事業計画

1) 整備報告書等

- ・『特別史跡キトラ古墳環境整備事業報告書（仮）』の刊行
- ・パンフレット「特別史跡 キトラ古墳 整備の概要」の作成、印刷
言語・部数：イタリア・スペイン・フランス 各 1,000 部

2) 整備後墳丘の経過観察

- ・樹木の生育の現状調査と対策
- ・墳丘法面植栽の現況調査と対策

整備によって墳丘の保護のため植栽したコクマザザの生育状況が芳しくなく、コクマザサの育成環境について、現況調査をし、補植等改善策について検討する。



竣工直後（2015年10月）



2017年11月

3) 墳丘現地の活用

整備後の活用方法のあり方について、検討を進める。昨年度に引き続き下記、「キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会」を活用のケーススタディとして実施するとともに、検討・改善をおこなう。

- ・キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会

昨年度に引き続き、奈文研・国営飛鳥歴史公園（国営飛鳥歴史公園事務所＋公園財団飛鳥管理センター）共催で実施する。平成 30 年度は、キトラ古墳壁画公開期間中の平日に、年間 4 回（1 回につき、午前・午後 2 ターン）、事前予約・当日参加受付を合わせて 1 ターンごと定員 15 名で実施する。